

## = 業界情報 =

### 平成27年度 自動車分解整備事業実態調査結果の概要について

この度、平成27年度の自動車分解整備事業実態調査の結果がまとめましたので、概要をお知らせします。

#### 1. 目的

本調査は、自動車分解整備業の現状及び経営状況等の実態を把握し、同事業の健全な発達に資する方策の基礎資料として活用することを目的として実施するものです。

#### 2. 調査時点

平成27年6月末現在。売上高等については、平成27年6月末に最も近い決算期分。

#### 3. 調査結果の概要（別紙参照）

道路運送車両法に規定する自動車分解整備事業者（平成27年6月末時点92,160事業場）のうち約2割を対象とし、有効回答数は全事業場の約1割）を対象として調査を行いました。

平成27年度調査における総整備売上高は5兆5,133億円となり、前年度と比較すると3年ぶりに36億円減（0.1%減）とほぼ横ばいの結果となりました。

なお、詳細の分析は3月発刊予定の「平成27年度版自動車整備白書」に掲載する予定です。

注）1) 専業：自動車整備業の売上高が総売上高の50%をこえる事業場

2) 兼業：兼業部門（自動車販売、部品用品販売、保険、石油販売等）の売上高が総売上高の50%以上を占める事業場（ディーラーを除く。）

3) ディーラー：自動車製造会社又は国内一手卸販売会社と特約販売店契約を結んでいる企業の事業場

4) 自家：主として自企業が保有する車両の整備を行っている事業場

#### （1）総整備売上高

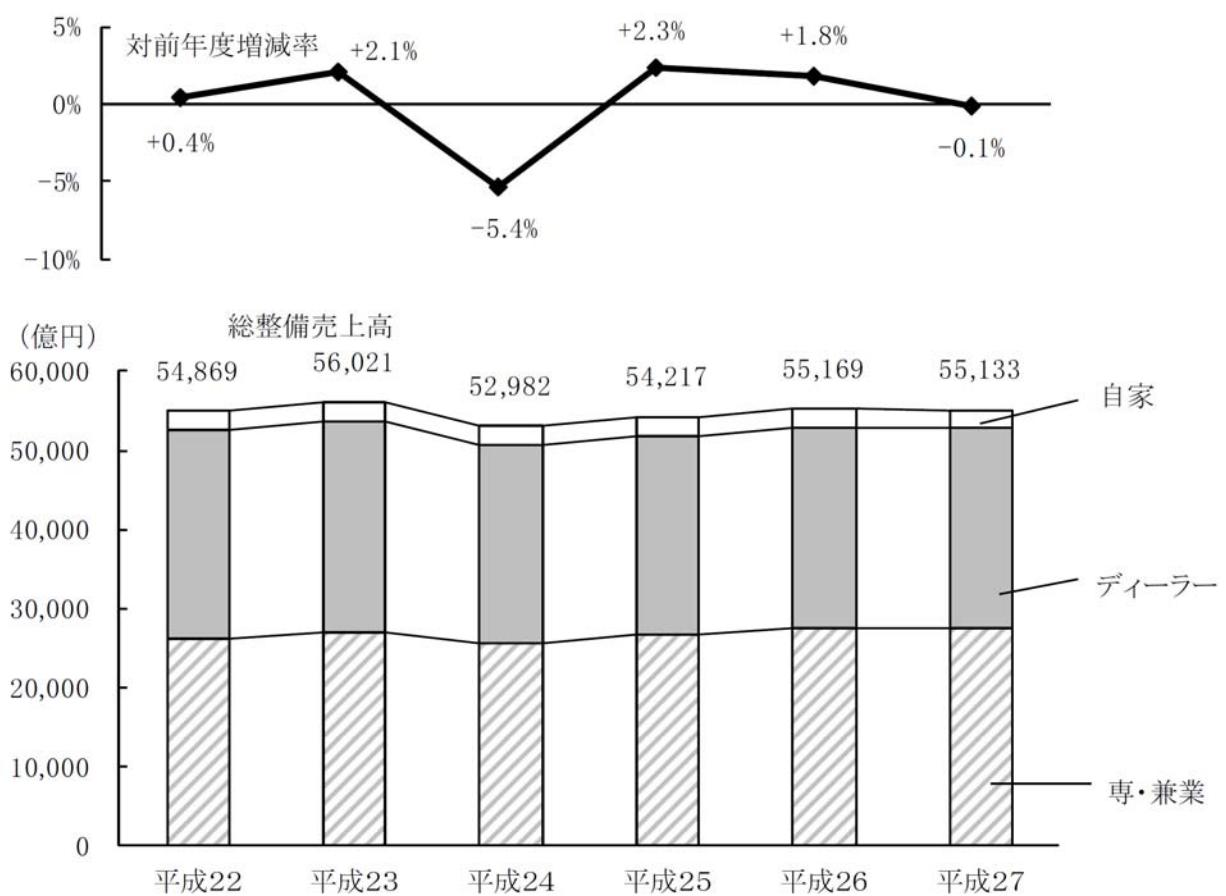
東日本大震災の影響により減少（平成24年度調査）した総整備売上高はその後、2年連続で増加しましたが、27年度調査では3年ぶりに減少に転じました。

業態別に前年度と比較すると、専・兼業が121億円減（0.4%減）、ディーラーが169億円増（0.7%増）、自家が84億円減（3.4%減）とディーラーのみが増加しました。

作業内容別では、「事故整備」が5.9%減少しましたが、「車検整備」が1.0%、「定期点検整備」が6.8%、「その他整備」が1.5%増加しました。

調査年度 業態	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	27-26	27/22
専・兼業	26,305	27,095	25,709	26,748	27,523	27,402	-121	+4.2%
	+0.01%	+3.0%	-5.1%	+4.0%	+2.9%	-0.4%		
専業	19,996	21,146	19,515	20,322	20,968	20,224	-744	+1.1%
	+2.8%	+5.8%	-7.7%	+4.1%	+3.2%	-3.5%		
兼業	6,309	5,949	6,194	6,426	6,555	7,178	+623	+13.8%
	-7.8%	-5.7%	+4.1%	+3.7%	+2.0%	+9.5%		
ディーラー	26,311	26,637	25,089	25,105	25,195	25,364	+169	-3.6%
	+0.7%	+1.2%	-5.8%	+0.1%	+0.4%	+0.7%		
自家	2,253	2,289	2,184	2,364	2,451	2,367	-84	+5.1%
	+1.1%	+1.6%	-4.6%	+8.2%	+3.7%	-3.4%		
合計	54,869	56,021	52,982	54,217	55,169	55,133	-36	+0.5%
	+0.4%	+2.1%	-5.4%	+2.3%	+1.8%	-0.1%		

（単位・億円）



#### (2) 事業場数

調査時点における事業場数は92,160 事業場で、前年度と比較すると25 事業場増(0.03%増)となっています。

指定工場数は29,737 事業場で、前年度と比較すると95 事業場増(0.3%増)となっています。

#### (3) 整備関係従業員数

整備関係従業員数は546,942 人で、前年度と比較すると1,810 人増(0.3%増)となっています。

#### (4) 整備要員数及び整備士数

整備要員数は401,001 人で、前年度と比較すると84 人減(0.02%減)となっています。

整備士数は339,999 人で、前年度と比較すると2,487 人減(0.7%減)となり、整備要員数に対する整備士数の割合(整備士保有率)は84.8%で0.6 ポイント減少しています。

※参考：内数として女性整備要員数は16,687 人(対前年度216 人増)、女性整備士数は10,604 人(同1,077 人増)となっています。

総整備要員数に占める女性整備要員数の割合は4.2%、整備士数に占める女性整備士数の割合は3.1%となっています。

#### (5) 整備要員 1人当たり年間整備売上高

整備要員 1人当たり売上高(自家除く)は13,830 千円で、前年度と比較すると0.1%増となっています。なお、業態別では以下の通りです。

専・兼業 10,293 千円(対前年度比0.4%減)

ディーラー 21,998 千円(対前年度比0.4%増)

#### (6) 整備要員平均年齢

整備要員平均年齢(自家除く)は44.3歳で、前年度と比較すると0.5歳上昇しました。

#### (7) 整備要員1人当たり年間平均給与

整備要員1人当たり年間平均給与(自家除く)は3,792千円となり、前年度と比較すると0.3%増となっています。

### 自動車整備業の概要

項目	調査年度	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	27/26
1. 総整備売上高 ※(億円)		54,671	54,869	56,021	52,982	54,217	55,169	55,133	99.9 %
専・兼業 (比率、%)		26,303 (48.1)	26,305 (47.9)	27,095 (48.4)	25,709 (48.5)	26,748 (49.3)	27,523 (49.9)	27,402 (49.7)	99.6 %
専業 (比率、%)		19,459 (35.6)	19,996 (36.4)	21,146 (37.7)	19,515 (36.8)	20,322 (37.5)	20,968 (38.0)	20,224 (36.7)	96.5 %
兼業 (比率、%)		6,844 (12.5)	6,309 (11.5)	5,949 (10.6)	6,194 (11.7)	6,426 (11.9)	6,555 (11.9)	7,178 (13.0)	109.5 %
ディーラー (比率、%)		26,140 (47.8)	26,311 (48.0)	26,637 (47.5)	25,089 (47.4)	25,105 (46.3)	25,195 (45.7)	25,364 (46.0)	100.7 %
自家 (比率、%)		2,228 (4.1)	2,253 (4.1)	2,289 (4.1)	2,184 (4.1)	2,364 (4.1)	2,451 (4.4)	2,367 (4.3)	96.6 %
2. 企業数		72,861	74,027	73,690	73,572	73,173	73,695	73,630	99.9 %
3. 事業場(工場)数		91,281	91,736	91,874	91,867	91,933	92,135	92,160	100.0 %
専・兼業		71,387	71,943	72,106	72,200	72,242	72,224	72,234	100.0 %
専業		55,365	57,182	57,266	57,176	56,948	57,043	57,024	100.0 %
兼業		16,022	14,761	14,840	15,024	15,294	15,181	15,210	100.2 %
ディーラー		16,143	16,082	16,015	15,961	16,033	16,179	16,221	100.3 %
自家		3,751	3,711	3,753	3,706	3,658	3,732	3,705	99.3 %
4. 指定工場数		29,066	29,115	29,252	29,360	29,493	29,642	29,737	100.3 %
5. 整備関係従業員数(人)		564,058	570,223	585,475	553,893	549,902	545,132	546,942	100.3 %
6. 整備要員(工員)数(人)		396,164	401,038	402,221	401,099	400,336	401,085	401,001	100.0 %
うち整備士数(人)		344,216	342,897	347,276	346,051	343,210	342,486	339,999	99.3 %
整備士保有率(%)		86.9	85.5	86.3	86.3	85.7	85.4	84.8	—
7. 1事業場当たり整備要員数(人)		4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	±0.0人
8. 保有車両数(3月末、千台)		78,801	78,693	78,661	79,113	79,625	80,273	80,674	100.5 %
9. 技術料(工賃)の値上率(%)		+0.3	+1.0	+0.8	+0.8	±0.0	-0.7	+1.3	—
10. 整備要員 1人当たり 年間整備 売上高 ※(千円)	専・兼業	10,020	9,903	10,126	9,617	10,030	10,331	10,293	99.6 %
	専業	9,756	9,698	10,197	9,433	9,865	10,174	9,819	96.5 %
	兼業	10,854	10,609	9,881	10,245	10,593	10,868	11,911	109.6 %
	ディーラー	22,830	22,622	23,209	22,002	21,994	21,905	21,998	100.4 %
	平均	13,911	13,775	14,054	13,320	13,617	13,822	13,830	100.1 %
11. 整備要員 平均年齢 (歳)	専・兼業	46.4	46.3	47.1	47.3	47.7	48.0	48.5	+0.5歳
	専業	47.5	47.4	48.1	48.4	48.6	48.8	49.4	+0.6歳
	兼業	43.1	42.7	43.5	43.6	44.7	45.1	45.5	+0.4歳
	ディーラー	32.4	32.5	32.8	33.8	33.8	34.1	34.4	+0.3歳
	平均	42.2	42.1	42.8	43.3	43.5	43.8	44.3	+0.5歳
12. 整備要員 1人当たり 年間平均 給与 (千円)	専・兼業	3,526	3,509	3,557	3,518	3,519	3,540	3,521	99.5 %
	専業	3,469	3,468	3,522	3,488	3,478	3,504	3,476	99.2 %
	兼業	3,706	3,651	3,679	3,621	3,656	3,661	3,676	100.4 %
	ディーラー	4,119	4,050	4,153	4,217	4,280	4,342	4,417	101.7 %
	平均	3,706	3,674	3,736	3,727	3,747	3,782	3,792	100.3 %

(注) 各項目の数値は、各年6月現在のものである。ただし、※印の数値は、各事業場の6月に最も近い決算期の数値によるものである。  
なお、平成22年度は全事業場を対象に調査を実施し、その年度以外は抽出調査である。

## 指定整備事業協議会

### 委員会開催

- 日 時 1月20日(水) 15:00~16:30
- 場 所 (一社)山梨県自動車整備振興会 会議室
- 出席者 雨宮会長、内藤監事、中込委員、義見委員、真保委員、大田原委員、萱沼委員  
清水委員、田口委員、村松委員、斎木幹事、石原幹事、山下指導教育部長
- 会議事項
  - (1) 自動車検査員等業務研修会について
  - (2) 指定整備事業適正化グッズについて
  - (3) その他
    - ①車両法及び施行規則の一部改正
    - ②平成27年度指定自動車整備事業者等講習会
    - ③地区育成費支払い

### 自動車検査員業務等研修会開催のお知らせ

指定整備事業協議会では、検査実務に携わっている自動車検査員の疑問点等を解消するための「自動車検査員業務等研修会」を次により開催いたします。

第一線において検査を行う自動車検査員の方は、率先して受講されますようお願いします。

#### 《今回の研修内容》

- 平成29年4月から適用される外装基準の検査方法
- 2月1日より施行されている小型貨物の中古新規検査の取扱い等

- 日 時 3月1日(火) 受付 13:30  
講習会 14:00~17:00
- 場 所 (一社)山梨県自動車整備振興会 大講堂
- 講習会 講師: 山梨運輸支局専門官・自動車検査独立行政法人検査官

### ケースその1

#### 【内容】車検を受けてすぐにオルタネーターが故障した

- ・車名：乗用車
  - ・登録年月：平成22年6月
  - ・走行距離：54,000km
- 平成22年、専業会員事業者にて新車を購入。平成25年に続き、平成27年5月23日に2回目の車検を同社で受けた。平成27年6月30日、自宅でエンジンが始動しなくなった。同社に修理依頼しバッテリー交換したが、その後、オルタネーター故障と判明した。メーカー保証で対応できないかをディーラーに問い合わせて貰ったが、保証対象外とのこと。同社より、「オルタネーター交換は純正品使用で12万円程度、リンク品で6万円程度要す」と言われた。検査を受けてすぐに故障するのはおかしい。検査時に点検していないのか？等々の質問を受けた。

#### 【対応】

以下の内容の説明を行った。

相談者から詳細を聞き、点検整備記録簿の状況からみて、同社の点検整備には落ち度はない。

自動車点検項目に沿って確実に点検を行い、記録簿に記載を行っている。事前に不具合症状等があったのなら、受入時に伝えていれば対応は可能であったが、不具合症状が全く無かったのだから不可抗力である。

点検個所によっては、部位の劣化状態により事前に指摘可能なものは多くあるが、今回の箇所については通常の点検整備では分からないと説明して、了承頂いた。

### ケースその2

#### 【内容】パワーステアリングの修理は無償対応にならないか

- ・車名：輸入車
- ・登録年月：平成14年
- ・走行距離：不明

先日、D整備工場に「パワーステアリング無償修理の対応」の資料を提示し、無償修理の対応を求めたが、当該車両は登録した日から13年経過しており、無償修理の対象期間を過ぎているために無償修理はできないと言われた。(メーカーにも確認した結果であるとのこと)

しかし、資料では無償修理の対象期間は「新車を登録した日から12年、または20万km以内」となっており、「当該車両は20万km以内であるために対象となるのではないか。納得できない」との相談が寄せられた。

#### 【対応】

D整備工場は当会の会員であり指導を行うことは可能である。ただし、無償修理の対象期間が過ぎているために無償修理ができないということは、メーカー及び正規ディーラーとしての方針と思われる。また、整備費用等に関する金銭問題に進展することも考えられることから、当会がD整備工場に対し「無償修理を実施するように」というような強制力のある指導はできない。

あくまでも、D整備工場に対し相談内容を伝え、「誠意をもって解決に当って欲しい的な内容になるが、それでも良いか」を確認した。

相談者からは、「これ以上、事を荒立てたくはないので指導はして貰わなくても結構です」との回答があった。

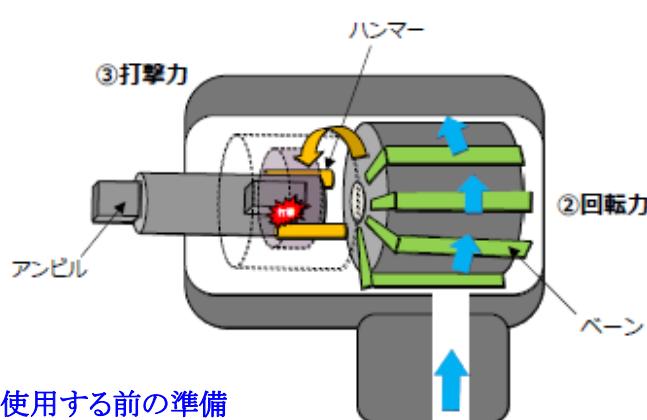
### エアツールの構造と使用前の準備について

サービスマンにとって、工具は大事な商売道具となります。構造と使い方を今一度確認することで工具も調子よく長持ちさせて、安全で快適な仕事につながることを願います。

#### ■ インパクトレンチの構造

エアツールの原理は風車と同じです。空気の圧力が上がり流速が早ければ羽根が早く回ります。ローターに入っているベーンは空気の圧力と遠心力で、ハウジングに側に飛び出し高速で回転します。その回転力がハンマーを回して、アンビルに打撃を与えて高トルクを発生させます。

#### 風力を回転力に変換し、その回転力を利用して打撃力を得る



- ① エアカプラから圧縮空気が本体に流入。
- ② 空気の圧力でローター内のベーンが押し出されて、空気の流速によりローターが回転する。
- ③ ローターの回転力がハンマーに伝わりアンビルに打撃を与えて高トルクを発生させる。

#### ■ 使用する前の準備

エアツールを使用する際に気をつけなければならないことが、エアと潤滑油です。

エアに水分や鉛などの異物が混入したり、使用前にオイルを供給しない場合、エアツールの不具合が発生するので、コンプレッサーのフィルター清掃やオイル交換、オイラー、エアドライヤー、配管清掃メンテナンスを定期的に実施し、下記の手順での使用をお願いします。

- ① コンプレッサーや配管の水抜を行う。(鉛水混入防止)
- ② 細い配管やホースはエアの供給に適しません。(ホース内径 8mm 以上 各製品カタログ参照)
- ③ 手元エアの使用圧力を、レギュレーターなどで調整する。(使用エア圧適正值 0.7~0.8Mpa)
- ④ エアカプラからエアツール用オイルを3滴入れて、ホースを接続する。  
※ エンジンオイル等の粘度の高いオイルを使用すると、ベーンの動きが悪くなります。
- ⑤ エア排気口にウエスをあてがい、3回ほど空転させ、内部にオイルを行き渡らせる。

#### ■ 使用時の注意

トルク管理を必要とする締め付けにはトルクリミットインパクトレンチ以外は使用しないで下さい。

トルクリミットインパクトレンチ使用後は、必ずトルクレンチにて規定トルクに締め付けて下さい。

#### ■ プレセッタ型トルクレンチの保管方法（前回1月号の追加項目）

- ・ 目盛りの最低値に合わせる。(スプリング等の衰損防止のため)
- ・ 高温多湿を避ける。 (内部グリース流出防止)
- ・ ホコリを避ける。 (ケースに入れて保管)